

1 プログラムの提出先

作成したソースファイルのみを

```
https://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/report/
```

から提出する。その際には、プログラムが存在するコンピュータ（実習用コンピュータ）で Web ブラウザを起動する必要がある。実習用コンピュータでは w3m というブラウザが使える。X Window System が動いているならば、`firefox -no-remote &` を実行して Mozilla Firefox でのプログラム提出もできる。

2 w3m (テキストベース Web ブラウザ) の使い方

2.1 起動法

```
w3m [URI または file] 12
```

例) `w3m https://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/report/`

2.2 操作法

q または Q	終了
<TAB>	次のリンクにカーソル移動
<ENTER>	カーソル位置のリンクページ閲覧やフォームの記入等 (GUI ブラウザでの左クリックに相当する操作)
CTRL-c	操作の中断
B	現在表示中のバッファを削除 (「前のページに戻る」的操作)
H	ヘルプ画面の表示
U	URL を指定してページを表示
o (小文字のオー)	設定変更画面を表示

カーソル移動や画面の上下移動等の操作には less, emacs, vi 流のコマンドが利用可。画面の乱れは CTRL-l で直せる。その他のコマンドについては、ヘルプ画面や man ページを参照のこと。

w3m はファイル名の入力誤りを検知しないので、ファイル名の記入誤りを防ぐために、フォームへのファイル名入力では <TAB> によるファイル名の補完を使うこと。

2.3 SSL の設定 (参考)

プログラム提出先のページへのアクセスで警告が出る場合、以下の設定を一度行う必要がある。

1. o (オー) コマンドで Option Setting Panel を表示
2. 画面下部の「SSL の設定」の「SSL のサーバ認証を行う」を NO に変更し、[OK] 欄で <ENTER> を押す。

¹ コマンドラインオプションを付けて w3m を起動することもできる。詳細は `man w3m` を実行のこと。

² 提出するソースファイルが存在するディレクトリをカレントディレクトリにして起動するのがよい。